

認知症の状態に合わせて利用できる支援の流れ（認知症ケアパス）



〔認知症の症状や経過には個人差があります〕

認知症の経過	日常生活は自立	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 気になる状況に☑を付けてみましょう □外出するのが面倒になった □服装に気を遣わなくなった □同じことを何度も話すことが増えた □小銭での計算が面倒でお札で支払うようになった □手の込んだ料理を作らなくなった □料理の味付けが変わった □車をこすることが増えた	□大事な約束を忘れ、困る事がある □計算の間違いが多くなった □趣味や楽しみに興味なくなった □冷蔵庫の中に同じものがいくつもある □その場を取り繕う言動がある □財布などのものが見当たらないと家族等の身近な人のせいにする	□たった今しようとしたことや話したことを忘れる □料理をしなくなった □ささいなことで怒りっぽくなった □薬の管理ができない □道に迷って帰れなくなりそうになったことがある	□季節にあった服装が選べない □顔を洗わない、入浴を嫌がるなど身だしなみを気にしない □はしの使い方がわからない □排泄の失敗が増えた □知人のことが分からなくなる	□身近な家族の顔が分からなくなる □自由に体を動かせなくなる □食べ物の飲み込みに支障がでる	
本人の気持ち	○自分がこれまでと違うことに気づき、この先どうなるのか不安を感じている	○もの忘れや失敗が増え、これまでできたことができなくなり、気持ちが沈んでしまう ○コミュニケーションもとりにくくなり、それまでやっていた趣味もやめてしまう ○失敗した時、どうしたらいいのかわからず、イライラし不安が高まる		○自分の感情や気持ちをうまく言葉にできない	
介護予防 <small>いきいき楽しめる時間や場所、人との交流。人との交流を図りながらのリハビリや運動</small>	○健康づくり事業（栄養相談、歯科相談など）○老人クラブ ○ふれあいサロン ○公民館活動 ○介護予防教室（いきいき貯筋運動教室・転倒予防教室）				
医療 <small>認知症を診断し、病気に関する治療や家族への助言</small>	○かかりつけ医 ○認知症サポート医 ○認知症疾患医療センター 認知症初期集中支援推進事業				
介護保険	介護予防・生活支援サービス事業（訪問型・通所型サービスなど） 介護予防サービス（短期入所、訪問看護、住宅改修、福祉用具貸与・購入）	○介護サービス事業（訪問・通所介護、訪問入浴など） 車いす貸出事業		○小規模多機能型居宅介護	
地域での安否確認・見守り	○家族 ○地域住民 ○民生委員・児童委員 ○小組合長 ○公民館長 ○ともしびグループ ○認知症サポーター ○キャラバンメイト ○配食サービス ○災害時要援護者支援				
相談・家族支援 <small>認知症についての総合的な相談 認知症の本人・家族・地域住民の交流の場</small>	○保健センター ○地域包括支援センター ○認知症地域支援推進員 ○健康長寿課 ○認知症対応型共同生活介護（グループホームゆんぬ） ○与論幹部派出所 ○認知症カフェ 居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）			在宅ねたきり老人等介護手当	
権利を守る	日常生活自立支援事業 成年後見制度				
住まい・生活支援	○自宅 ○町の便利屋さん（ねこの手グループ、ありいふりい） 認知症対応型共同生活介護（グループホームゆんぬ）			○介護老人保健施設（風花苑） ○特別養護老人ホーム（ヨロン園）	